

2024 年 7 月 22 日

私立大学図書館協会
加盟大学図書館長 様

私立大学図書館協会会長校
明治学院大学図書館
館 長 助川 哲也（公印省略）

私立大学図書館協会総会・研究大会当番校
駒澤大学図書館
館 長 櫻井 陽子（公印省略）

第 85 回（2024 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会の参加方法について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

6 月 27 日付私大図協発第 24-22 号の開催通知でお知らせしておりました今年度の総会・研究大会の参加方法につきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

なお、第 85 回（2024 年度）総会はメール会議、研究大会はオンライン配信で実施いたします。総会・研究大会の参加費は昨年度同様に徴収いたしません。加盟館の皆様におかれましては図書館運営にご尽力の中でご多用と存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 総 会

<総会>

日 時：2024 年 8 月 27 日（火）12：00～9 月 3 日（火）17：00

方 法：メール会議

議 案：『総会・研究大会資料』の「総会資料」をご参照ください。

※8 月 26 日（月）までに、私立大学図書館協会ホームページに掲示いたします。

表 決：Web フォームから入力（URL などの詳細は、後日会長校よりご案内いたします。）

結 果：2024 年 9 月 20 日（金）（予定）にメール、および加盟校限定ページで公開いたします。

<挨拶・祝辞>

協会ホームページに挨拶および祝辞を掲載いたします。

当 番 校 挨 拶	駒澤大学 学長	各務 洋子
会 長 校 挨 拶	明治学院大学 図書館長	助川 哲也
祝 辞	文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付 学術基盤整備室 室長	土井 大輔
	国立情報学研究所学術基盤推進部 次長	細川 聖二
次期当番校挨拶	京都女子大学 図書館長	中山 玲子

2. 研究大会 テーマ：「大学図書館と諸機関との連携」

<記念講演、講演および協会賞授賞式>

日 時：2024年9月4日（水）13：00～17：00

方 法：オンライン開催 YouTube Live（限定公開）

※駒澤大学（東京都世田谷区）より配信いたします。

※後日、私立大学図書館協会ホームページで録画を限定公開いたします。

※海外認定研修報告および研究助成報告は、加盟校限定ページで公開いたします。

プログラム：3～4 ページをご参照ください。

◎YouTube Live（限定公開）の参加方法

URLは、後日加盟校限定ページに掲載し、加盟校の皆さま宛お知らせいたします。

※申込みは不要です。

<2023年度海外認定研修の報告>

日 時：2024年9月4日（水）～2025年3月14日（金）（予定）

方 法：報告資料を加盟館限定ページにて公開

内 容：台湾図書館研修 2023

報告者：砂田ゆとり（東京外国語大学附属図書館）（2023年度：国際基督教大学図書館）

高木 秀明（中部大学附属三浦記念図書館）

林 恵理（大正大学附属図書館）

山川礼央奈（立命館大学図書館）

<2023年度研究助成の報告>

日 時：2024年9月4日（水）～2025年3月14日（金）（予定）

方 法：報告資料を加盟館限定ページにて公開

内 容：日本の大学図書館を機能させるための人事制度の可能性

報告者：ティムソン ジョウナス（早稲田大学図書館）

3. その他

総会・研究大会終了後、加盟校のみなさまにアンケートをお願いいたします。

（Web フォームからの入力形式）お手数ですが、ご回答をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】大会事務局 駒澤大学図書館（担当：飯島、長谷川、小田）

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL：03-3418-9153

E-MAIL：jaspul2024@komazawa-u.ac.jp

第 85 回（2024 年度）私立大学図書館協会研究大会
＜記念講演、講演および協会賞授賞式＞プログラム

日 時：2024 年 9 月 4 日（水）13：00～17：00 オンライン開催

視聴方法：YouTube Live（限定公開）でのオンライン開催

※当日の講演は録画し、後日加盟校限定ページにて公開予定

配信会場：駒澤大学（東京都世田谷区）

テ ー マ：「大学図書館と諸機関との連携」

大学図書館はこれまで、学習支援および学術研究を支える情報基盤として、多くの図書資料やコンテンツを提供してきた。今後は益々、コンテンツのデジタル化やオープン化が求められ、更には大学図書館間あるいは他の学術情報機関との協力・連携も不可欠とされており、時流としては一層充実した機能を有することが図書館に期待されている。そのような中、大学図書館が諸機関とどのように結び付き、協力しあい、サービスを供しているのか。利用する立場からの事例も交えて紹介することで、今後の大学図書館の方向性を考える一助としたい。

(1) 開会挨拶・オリエンテーション 13：00～13：15

開 会 挨 拶：各務 洋子（駒澤大学 学長）

会 長 校 挨 拶：助川 哲也（明治学院大学図書館 館長）

(2) 記念講演 13：15～14：15

演 題：「“データ駆動による課題解決型人文学の創成プロジェクト”の目指すもの」

講演者：渡部 泰明（大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館 館長）

国文学研究資料館では、2014 年度から 2023 年度の 10 年間、大規模学術フロンティア事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を実施した。その成果として、当館が運用する「国書データベース」上で、古典籍 30 万点のデジタル画像を作成・公開した。本 2024 年度より、そのフロンティア事業を引き継ぐ「データ駆動による課題解決型人文学の創成～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～」を開始した。上記の画像データを拡充するとともに、古典籍のテキストデータを構築して利活用を促進し、異分野融合研究を推進することを計画している。古典籍所蔵機関をはじめ、関係諸機関のいっそうのご協力を仰ぎたい。

(3) 2023 年度協会賞授賞式 14 : 15～14 : 30

業績：『「学び」と「集い」の図書館に挑む 大学図書館の未来と創造』の刊行
受賞者：大正大学附属図書館

(4) 休憩 14 : 30～14 : 40

(5) 講演① 14 : 40～15 : 40

演題：「私大図書館の連帯が支える学と世界：一現代政治史研究者の視点から」
講演者：村井 良太（駒澤大学 法学部 教授）

私は現代世界を扱う日本政治外交史研究者の一人で、研究・教育活動の中で、30年以上にわたって大学図書館や文書館、博物館など、様々な機関を使わせていただきました。分野によって使い方は違うと思いますが、ここでは具体的なプロジェクトや事例について詳報するのではなく、1人の利用者の立場から、大学図書館相互の、また諸機関との連携からどのような恩恵を被ってきたのか、また大学図書館と諸機関をまたいでどのように活動してきたのかをお話したいと思います。

私の分野で現在大きな問題となっているのが「歴史の武器化」で、その点で私立大学図書館には特に期待するものがあり、皆様に助けを求めます。

(6) 休憩 15 : 40～15 : 50

(7) 講演② 15 : 50～16 : 50

演題：「大学図書館と博物館の連携の成果と課題」
講演者：村松 哲文（駒澤大学 禅文化歴史博物館 館長/仏教学部 教授）

駒澤大学禅文化歴史博物館は、1928年に造られた建物（旧図書館）をリニューアルし、開校120周年に合わせて2002年に開館した博物館です。収蔵されている作品は、禅と仏教に関わるものですが、企画展示は戦国武将から源氏物語など多岐にわたっています。そのため学内外の所蔵者から借用することがあります。そうした中で本学図書館には、収蔵図書・資料が多いため、折に触れ図書館に相談し連携をとっています。

本発表では、学外者から博物館への問い合わせで資料の探索を行ったところ、博物館ではなく図書館で絵画作品が発見された経緯について報告し、図書館と博物館の連携の大切さと課題について提示したいと思います。

(8) 閉会挨拶・閉会 16 : 50～17 : 00

閉会挨拶：櫻井 陽子（駒澤大学図書館 館長）

以上